

研究結果報告書

所属 韓山師範学院
役職 専任講師
氏名 王 睿来

【研究テーマ】

中国語母語話者を対象とした日本語発音教育シラバス作成の試み

【研究結果】

本研究は分かりやすい発音習得の視点に立脚し、中国語を母語とする日本語学習者のための日本語発音教育シラバス作成を検討した。まず、先行研究に基づき、中国語母語話者の日本語学習者にとって習得しにくい発音項目を36個選定した。次に、各発音項目の指導重要度を「1.まったく重要ではない」から「6.非常に重要である」の6段階で日本語母語話者教師に評定させた。その結果、次のことが分かった。

- ・ 韻律の指導重要度は単音よりも高い。
 - (1) 単音：子音の指導重要度は母音よりも高い。
 - a. 母音：調査した4項目間で指導重要度に有意差なし。
 - b. 子音：調音場所・調音方法・有声無声の全てが指導重要度に影響を与えた。
 - ・ 調音場所：両唇音と軟口蓋音の指導重要度は、声門音よりも高い。
 - ・ 調音方法：弾き音の指導重要度は摩擦音よりも高い。
 - ・ 有声無声：有声子音の指導重要度は無声子音よりも高い。
 - (2) 韻律：特殊拍・アクセント・イントネーション・ポーズの各指導重要度の間に有意差なし。
 - a. 特殊拍：長音と促音の指導重要度は、連母音よりも高い。
 - b. アクセント：調査した5項目間で指導重要度に有意差なし。
 - c. イントネーション：疑問文末と態度に関わるイントネーションの指導重要度はフォーカスよりも高い。
 - d. ポーズ：1項目しかないため、指導重要度の比較は行わなかった。

以上の結果を先行研究と照らし合わせて考察し、発音教育シラバスの作成について検討した。本研究の結果は、日本語教師にとって中国語を母語とする日本語学習者の発音問題点を網羅的に把握できるだけでなく、音声教育を行う際の指針にもなる。また、重点的に指導すべき発音項目を選定し、より効率的な発音指導を行うための基礎資料ともなるため、今後の展開も期待できるものである。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

- (1) 王睿来・波多野博頭・林萍萍 (2024) 「日本語教師の内省に基づいた音声指導の重要度と習得の困難度について：中国語を母語とする日本語学習者のための音声教育シラバス作成に向けて」2024年中日対照言語学シンポジウム、会場：上海建橋学院 (中国・上海)、2024.08.17-08.18.
- (2) 王睿来・波多野博頭・林萍萍 (2024) 「中国語母語話者の日本語教師は音声教育についてどのように考えているか」中国語話者のための日本語教育研究会第56回研究会、会場：中山大学 (中国・広州)、2024.09.20-09.22.
- (3) 王睿来・波多野博頭・林萍萍 (2024) 「面向以漢語為母語的日語學習者的發音教學優先級研究：基于日語母語教師的評估分析」中国日語教学研究会2024年度年終總結大会、会場：浙江越秀外国語学院 (中国・紹興)、2024.12.20-12.22.
- (4) 王睿来・罗希・林良子・揣迪之・林萍萍「中国日語學習者語音教學信念研究」中国日語教育与日本学研究現代化轉型的新路徑學術研討會、会場：廣東外語外貿大學南國商學院 (中国・廣州)、2025.04.18-04.20.
- (5) 王睿来・林良子・林萍萍・高墁菲・冉露芸・程莉「中国語を母語とする日本語学習者による発音学習のビリーフ」異文化理解を目指す中日人文交流と地域研究シンポジウム&第七回東アジア日本学研究シンポジウム、会場：延辺大学 (中国・延吉)、2025.08.16-08.17.

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

- (1) 王睿来・波多野博頭・林萍萍 (2025) 「日本語母語話者教師の判定に基づく発音項目の指導重要度に関する検討：中国語を母語とする日本語学習者のために」『さいたま言語研究』第9号, pp. 18-33.
- (2) 王睿来・波多野博頭・林萍萍 (2025) 「中国語を母語とする日本語教師による音声教育のビリーフ」『海外日本語教育研究』第19号, pp. 6-24.
- (3) 王睿来・羅希・林良子・揣迪之・林萍萍 (投稿中) 「中国語を母語とする日本語学習者の音声指導に対するビリーフ」
- (4) 王睿来・林良子・林萍萍・高墁菲・冉露芸・程莉 (投稿予定) 「中国語を母語とする日本語学習者による発音学習のビリーフ：日本語専攻1年次大学生を対象に」

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

- (1) 王睿来・波多野博頭・林萍萍 (2026年出版予定) 「中国語母語話者を対象とした日本語発音教育シラバス作成の試み：中国語母語話者教師の判定に基づいて」林良子 (編) 『日本語韻律の音声的特徴とその習得』, pp. 未定.